

背景

- 世界的に水産物需要が拡大
一方、気候変動や乱獲により水産資源は減少傾向
- 2013年以降、世界の漁業生産量全体に占める養殖の割合は5割超
→ **水産増養殖は成長産業**

現状の課題

- 個人の経験や勘に頼った養殖生産
→ AI、IoTなど幅広い先端技術を活用した「スマート水産業」への転換
- 高齢化による就業者の減少
→ 担い手の育成による生産力向上

事業の目的

「未来の水産増養殖」を担う人材の育成

これまでの取組

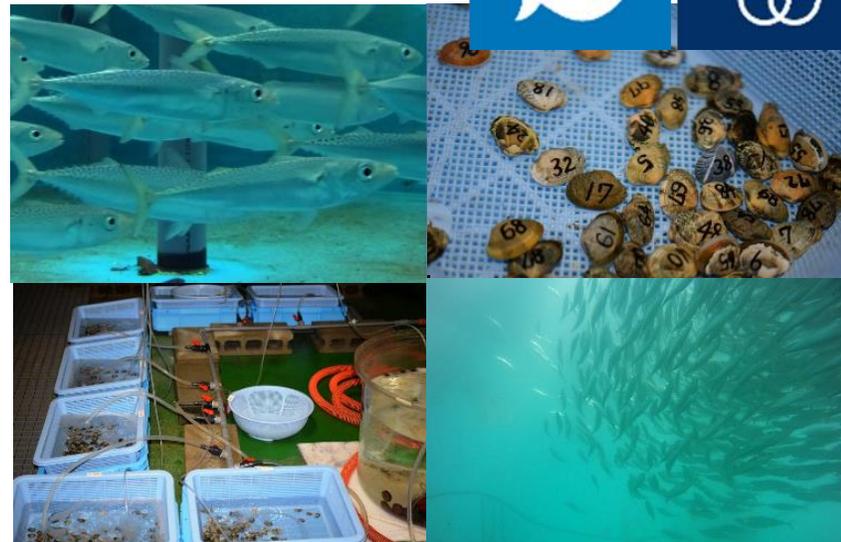
2019.8月 産学官連携組織「ふくい水産振興センター」設立

2022.4月 「先端増養殖科学科」開設

定員を上回る31名の一期生が入学

〃 水産学術産業拠点「かつみ水産ベース」運用スタート
学術研究、産業支援、人材育成を三位一体で推進

※福井県立大学の新学科プロジェクトは、
若狭地域の全市町、地元経済界、地元水産事業者などの応援を得て実施されています



福井県立大学 「先端増養殖科学科」

2022年4月 START!

福井県立大学海洋生物資源学部にて新学科が誕生します。
世界的に水産物需要が拡大する中、水産資源のSDGs達成に貢献する
水産増養殖は大企業やベンチャー企業の参入が相次ぐ注目の成長産業です。
ゲノム科学、AI解析、IoTなど幅広い先端技術を活用し
「未来の水産増養殖」を創る「最先端」の学科です。

入学定員 30名

テクノロジー × 水産増養殖 新たなチャレンジに私たちも期待しています!
嶺南地域・県大地域振興連携推進会議

福井県立大学「先端増養殖科学科」開設事業

事業内容

得られる成果等

○福井県立大学**かつみキャンパス**整備

2023年夏、新学科生の学びの拠点となる学科棟・飼育実験棟が完成予定
(供用開始は2023.10月から)

県水産試験場と同一敷地内に整備することにより、最先端かつ実践的な水産技術を学ぶことが可能

民間企業との共同研究において、学生が企業の先端的な研究を学びながら実習やインターンシップ、研究への参画

整備費 約18.8億円 ※国の地方創生拠点整備交付金を活用



【外観イメージ図（正面）】

○成果・目標

- ・水産増養殖リーダーの育成
- ・水産増養殖分野における生産性・収益性の向上
- ・地域経済の好循環の創出



○企業の皆様へのお願い

- ・企業版ふるさと納税による本プロジェクトの応援
- ・新学科の共同研究・受託研究への参画
- ・福井県若狭地域への養殖研究・生産拠点の立地

○企業のメリット

- ・SDGs達成への貢献のPR、企業ブランドイメージの向上
- ・増養殖事業への最先端かつ幅広い大学知見の活用
- ・企業の即戦力となる専門人材の育成

【連絡先】

福井県 総務部 大学私学課 高等教育グループ

TEL : 0776-20-0245 Email : daishi@pref.fukui.lg.jp